



人を認める文化を築こう



本日の修了式でのお話です。

いよいよ、今日で令和7年度が修了します。本当にあっという間だったように思いますが、みんなはどう感じていますか？いろいろな感情をもって今日を迎えていることと思います。校長先生にとってもこの1年は、とても早く感じました。みんなの良いところもいっぱい見れました。みんなの気になるところ、課題もたくさん見たように思います。ただ、失敗した人も素直に自分の間違いを認め、反省できる人が多かったことは、心の救いです。

では、1年の締めくくりのこの時に、また、新年度へのスタートのこの時に、いったい何を考え、何を決意したらいいのか。一人一人、よく考えてほしいと思います。そして、そのあらゆる場面で先生方が君たちに充実した時間を持ってほしい、達成感を感じてほしいと、たくさんの準備や努力をしてくれていたことをどうか忘れないでください。そんな1日1日の積み重ねを経て今日を迎えることができたことをお互いに喜び、感謝しあいたいと思います。

話は変わりますが、大きな存在であった3年生が卒業していきました。いよいよ君たちの時代が来ました。そこでこれからはみんなにはこうあってほしいという**新しい文化**について話したいと思います。この1年間、校長先生が全校集会等で一番みんなに話してきたことです。それは、「**頑張っている人を正しく認める文化**」をみんなには築いてほしいということです。周りにいる人の良い面を認めるという文化です。人はともすると周りの人に対し、自分よりも劣っているところや嫌なところを探し、時には攻撃し、**自分を優位にして安心させようとする**ことがあります。

しかし、それでは一人一人の成長はストップしてしまいます。だから、校長先生もこの学校では教員経験が長いほうですが、君たちの周りにいる先生方の努力を認め、学ぼうという気持ちを持つようにしています。さらには君たちから学ぶこともあるし、勇気や喜びをもらうこともあります。

2年生のあるクラスで、「Thank Youカード」で身近な人に「ありがとう」を伝えるという取り組みをやっていました。なんと校長先生にもメッセージを送ってくれた人が何人かいました。

「野田中学校を支えてくれてありがとうございます。この学校は最高に楽しいです。」「校長先生の話をしっかり聞いたので、全力で頑張りました。」「止まり木のような学校をつくるために、自分も成長します。」など本当にうれしい言葉を贈ってくれました。そして、認めてもらえたという喜びもありました。だから、一緒に**「人を認める文化」**を築いていきましょう。このことは新入生にも入学式で話そうと思います。新年度の目標となる、みんなのテーマです。さあ、今日から新年度に向けて心の準備を始めながら有意義な春休みを過ごしてください。期待しています。